

ふくし  
デザイン  
ゼミ

LOCAL

TAKASHIMA  
2024

ローカルで

ふくしを学び

デザインを考える

実践プログラム



## ゼミ生募集

実施期間：2024年8月～11月

定員：20名 ※29歳以下の学生・社会人

参加費：学生3万円、社会人5万円

キックオフ集合ゼミ

8月24日(土)～25日(日)の2日間

## キックオフフォーラム

### 参加者募集

7月13日(土) 13:30～16:30

定員：70名 ※こちらのイベントはどなたでもご参加いただけます

会場：KYOCA 京果会館 3階「hacoba」(京都市)

参加費：無料

ローカルで

ふくしを学び

デザインを考える

実践プログラム

滋賀県高島市を舞台に「ふくしデザインゼミローカル」を開催します。これまで2年間取り組んできた「ふくしデザインゼミ」をベースに、高島という地域（ローカル）に焦点を当てたプログラムです。ものごとの見かたを広げる2日間のキックオフを経て、高島での2泊3日のフィールドワークで、まちをゆたかにするアイデアをカタチにします。

ふくしやデザイン、ローカルなど、それぞれの興味・得意領域を活かしながら、地域のみなさんといっしょに取り組み3ヶ月間の集中プログラムです。ぜひ、ご参加ください。



## ゼミ生募集

### プログラム日程

- キックオフ集合ゼミ@京都 8月24日(土)～25日(日)  
[オリエンテーション、デザイン&編集ワークショップ など]
- 地域フィールドワーク@高島 9月21日(土)～23日(月)  
[フィールドワーク、レクチャー、企画会議、地域の方への発表 など] ※宿泊あり
- 公開プレゼンイベント@高島 11月2日(土)
- ふりかえり会@京都 11月30日(土)

### ゼミ講師

#### 田中 悠介 デザイナー / designと 代表

1985年大阪生まれ。大学院まで建築を学ぶも、建物を建てるだけでなく、あらゆる領域の課題に対してニュートラルな視点を持って解決できるようになりたいと思い、デザイナーになることを決意。数社のデザイン事務所を経て、2016年に「designと」を設立。デザインの分野にとらわれず、さまざまな領域の課題に取り組む。ふくしデザインゼミ1年目から講師を担当。



#### 影山 裕樹 編集者 / 千十一編集室 代表

1982年、東京都生まれ。早稲田大学第二文学部卒業後、出版社勤務などを経て独立。著者に『ローカルメディアのつくりかた』(学芸出版社)、共編著に『新世代エディターズファイル』(BNN)など。WEBマガジンEDIT LOCAL、ワークショップLOCAL MEME projectsなどを運営。大正大学表現学部専任講師。



#### 川中 大輔 ファシリテーター / 龍谷大学社会学部 准教授

1980年神戸市生まれ。2003年にシチズンシップ共育企画を設立。現在、同代表。「市民としての意識と行動力」が育まれたり発揮されたりする場づくりに取り組み、全国各地で市民教育や若者の参加、協働まちづくりやNPOマネジメントに関するワークショップを担当する。市民の社会参加や社会イノベーション実践に資する教育/研究に取り組んでいる。



### 応募要項

- [期間] 2024年8月24日(土)～11月30日(土)
- [募集人数] 20名
- [応募対象] 29歳以下の学生・社会人 ※全プログラムに参加意思のある方
- [参加費] 学生 30,000円 / 社会人 50,000円  
※現地フィールドワークにかかる交通宿泊費は含まれません。  
※プログラム中の食費も含まれません。
- [お申し込み] <https://fdst2024.peatix.com>  
※締切は、2024年8月4日(日) 23:59です。  
※Peatixのエントリーフォームからお申し込みください。  
※応募多数の場合、選考させていただきます。
- [お問い合わせ] [info@bokumin.jp](mailto:info@bokumin.jp) (担当: 大澤、瀬川)



## キックオフフォーラム

### 参加者募集

### イベント概要

- [開催日時] 7月13日(土)  
13:30～16:30 (13:00開場) ※プログラム終了後に交流会あり
- [定員] 定員 70名 ※こちらのイベントはどなたでもご参加いただけます。
- [会場] KYOCA 京果会館 3階「hacoba」  
〒600-8847 京都府京都市下京区朱雀正会町1-1  
JR京都駅から徒歩20分、JR梅小路京都西駅から徒歩1分
- [参加費] 無料
- [お申し込み] <https://fdst2024-forum.peatix.com>



### 第1部 ふくしデザインゼミを知る

## クロストーク「ふくしとデザインの交差点」

#### 高橋 信夫 社会福祉法人武蔵野会 理事長

1954年熊本県生まれ。明治大学卒業後、証券会社勤務を経て、1982年武蔵野会に入職。2017年に理事長に就任。これからの時代の福祉法人のあり方を模索し、「ふくしデザインゼミ」や「仲間さがし」など新たな挑戦をつづける。東京都社会福祉法人経営者協議会副会長、生きにくさネットワーク理事など、都や国全体の社会福祉の発展に尽力。



#### 小松 理虔 地域活動家 / ヘキレキ舎 代表

1979年福島県生まれ。地元いわきでヘキレキ舎を立ち上げ、商店街でオルタナティブスペースUDOK.を運営しながら、食や観光、医療福祉など幅広い分野の企画、情報発信に携わる。いわきの地域包括ケアの取り組み「igoku」でグッドデザイン金賞、初の単著『新復興論』で大佛次郎論壇賞を受賞。『地方を生きる』など、ローカル関連著作も多数。



#### 田中 悠介 デザイナー / designと 代表

### 第2部 ふくしデザインゼミを感じる

## まちをおもしろがるワークショップ

題材は、今回のふくしデザインゼミの舞台となる滋賀県高島。小松理虔流に、まちをおもしろがるアイデアを考えてみるワークショップをします。

「ふくしデザインゼミ」は2023年度グッドデザイン賞を受賞しました。



- 主催：一般社団法人ぼくみん、designと
- 共催：社会福祉法人ゆたか会、TAKASHIMA BASE
- 協力：株式会社Beスマイル、SAWAMURA、社会福祉法人武蔵野会 ふくしデザインセンター設立準備室
- 後援：高島市社会福祉協議会
- 助成：日本財団